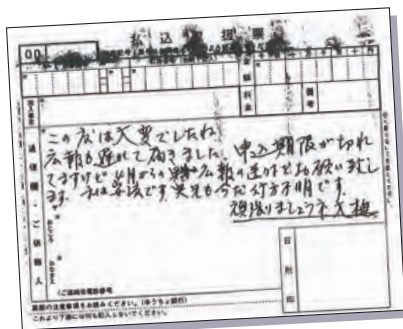
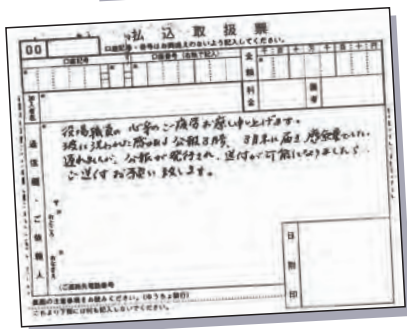
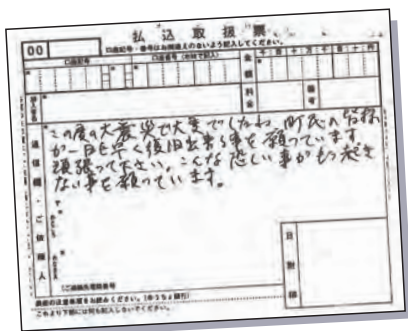




## 広報の絆 広報の力

震災の日、大槌町役場から集荷された郵送用の広報は、水がかかって濡れたにもかかわらず、配達され町外に届きました。これに対し、各市町村職員や町外にいる人から、「うれしかった。」「感動した。」「大変だろうけどがんばってほしい。」などの声が役場に寄せられました。大槌町の情報が外から何も分からなかった震災直後、この広報が、様々なメッセージとなって全国にいる読者のもとへ届いていました。役場の職員も、帰ってきた声に感動し、広報紙による絆に励まされました。

復興へ向かう大槌の大きな力となる広報をこれからもお届けしていきます。



広報紙の郵送料金の払込用紙に書き添えられた、町への手紙

## 編集後記

▼今年4月から広報おつち担当になりました、小笠原佑樹です。これからよろしく願います。

▼3月から災害対策本部情報「おつち」を発行し、半年以上が経ちました。今回、やっと従来の広報おつちを発行することができました。従来の、と言っても震災以前のものはだいぶ変わり、まだまだ内容も遠くおよびませんが、私なりに町の話題を精一杯伝えていきたいと思えます。▼震災直後から写真を撮っていて気付くのは、町の皆さんの表情が目に見えて明るくなってきているということです。仮設住宅や復興計画など、復興の話題はたくさんありますが、私はみなさんの表情から一番「復興」を感じます。町民の表情をたくさん伝えていく広報紙を目指していきたいと思えます。取材の際はよろしく願います。

▼この広報紙を発行するにあたり、多くのご支援、応援をいただきありがとうございました。本当にありがとうございました。より良い広報を作り、これから見えていただきたいと思っています。(佑樹)